



# 第二中だより

No. 557

開校 53周年

生徒数 423名

令和元年 6月4日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>

## 若さ漲る

校長 橋本 真



### (5月30日の予行練習風景)

#### 「若さ漲る やる気漲る 体育祭」

6月1日の体育祭は、天気にも恵まれ、和光二中の勢いを存分に発揮でき、すばらしい体育祭にすることができました。生徒・先生・保護者・地域のの方々全員の心に残るものになったと思います。

それは、生徒全員が、競技種目に真剣に全力を尽くす姿があったからだと確信しています。特に3年生は、1・2年生の見本となる、3年間の成長した姿がありました。「学級の応援」や「各学年種目」はその良い例だと思います。今の和光二中の良さの表れだと感じました。

6月、梅雨の季節を迎えました。早いもので、新学年がスタートして、2ヶ月が過ぎました。5月には、土曜参観、中間テストが行われ、土曜参観には、多くの保護者の皆様のご来校をいただきありがとうございました。また、今月の16日からは学校総合体育大会が開催されます。子どもたちの力いっぱいの活躍を期待しています。

#### 「知」「徳」「体」

「知・徳・体」というお話をします。「知」とは、日々の学習に取り組み確かな学力を身につけること、「徳」とは、多くの生徒や先生と生活する中で豊かな人間性を身につけること、「体」は身体を鍛え、心身ともに健康になることだと考えています。

「知」だけ、「徳」だけ、「体」だけを磨いても将来、社会に貢献できる立派な大人になることはでき

ません。この3つのことは、互いに関連し合い、バランスが取れていることがとても大切です。

中学生時代は、大人になるための準備段階として不安定な時期ともいえます。日々の学校生活の中で、少しずつ確実に学んでいくことが大切です。

そう考えると学校は、学力をつけるために勉強するだけの場所ではないといえるということがわかると思います。今回の体育祭で取り組んだように、生徒や先生との「つながり」の中で、時にはぶつかり合い、悩み、考える、これは人間として成長するのにとても貴重な体験です。そして、本番で完全燃焼し、やり遂げたという満足感や達成感を感じることも大切なことです。また、日々の練習の中で鍛えた体力やあきらめずに頑張ろうとする精神力は、これからの学校生活に役立つものになると思います。実は、各教室の前に掲げている本校の教育目標は、この「知・徳・体」からできています。

「知」は「物事を正しく判断し、進んで学習する生徒」に、「徳」は「奉仕の心と感謝の気持ちを持ち、礼儀正しく思いやりのある生徒」に、「体」は「粘り強い気力を持ち、体力の向上に取り組む生徒」です。将来、社会に貢献できる立派な大人になるために、また、変化の激しいこれからの社会を生きるために、毎日の授業、学校行事、委員会や部活動などの取組を通して、その基礎となる「知・徳・体」をバランス良く確実に身につけてほしいと思います。



朝の体育祭練習